

2026年2月27日

報道関係各位

サーブ・バイオフーマ株式会社

サーブ・バイオフーマ、 腫瘍溶解性ウイルス Surv.m-CRA-2-IC に関して、物質特許を取得 ～強固な特許を背景に Surv.m-CRA-2-IC の研究開発・ライセンス活動を加速～

サーブ・バイオフーマ株式会社（本社：鹿児島県鹿児島市、代表取締役社長：山田昌樹、創業者・取締役会長兼最高科学責任者：小賤健一郎、以下「当社」）は、当社が開発を進めている革新的な免疫遺伝子搭載・腫瘍溶解性ウイルス Surv.m-CRA-2-IC について、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（以下、「AMED」）が実施する「創薬ベンチャーエコシステム強化事業（第10回）」に採択されたことに続き、その技術的独自性・革新性・優位性、及び有効性が日本国特許庁により認められ、腫瘍溶解性ウイルス Surv.m-CRA-2-IC の**物質特許**（以下、「本特許」）を取得しましたので、お知らせいたします。

【本特許の概要】

発明の名称	: 腫瘍溶解性ウイルス及びそれを用いたがん治療
特許番号	: 特許第 7816735 号
特許取得日	: 2026年2月9日
特許権者	: サーブ・バイオフーマ株式会社

背景と意義

腫瘍溶解性ウイルスは、がん細胞を選択的に破壊し、安全性と治療効果に優れた次世代がん治療として世界的に期待が高まる一方、日本国内では腫瘍溶解性ウイルスを含む再生医療等製品の開発が大きく立ち遅れており、日本発の革新的な腫瘍溶解性ウイルスの開発・実用化が切望されております。

このような背景のもと、当社は、当社の創業者で取締役会長兼最高科学責任者の小賤健一郎（鹿児島大学・教授）が独自開発した腫瘍溶解性ウイルス Surv.m-CRA（サバイビン反応性・多因子増殖制御型アデノウイルス）シリーズの社会実装化に向けて研究開発を推進しております。

Surv.m-CRA は、がん細胞で特異的に活性化する独自の「サバイブプロモーター」を搭載した腫瘍溶解性ウイルスです。正常細胞は傷害せず、がん細胞だけで増殖し、がん細胞を選択的に殺傷するため、高い治療効果と安全性を有し、さらに既存治療法が無効のがん幹細胞も治療できる画期的ながん治療薬（再生医療等製品）として期待されております。

Surv.m-CRA のファーストパイプラインである治療遺伝子未搭載 Surv.m-CRA-1 は、国内で実施した第 I 相および第 II 相臨床試験で極めて良好な結果が得られたことを受け、がん領域（適応症：希少がん「原発性悪性骨腫瘍」）の遺伝子治療において国内初、腫瘍溶解性ウイルスとしては世界 2 例目となる本承認（通常承認）取得を目指した第 III 相臨床試験を進めております。

さらに、セカンドパイプラインとして、浸潤・転移を伴う難治性がん克服のため、3つの免疫遺伝子を搭載し、全身性の抗腫瘍免疫誘導で遠隔の他臓器転移までを強力に治療できる Surv.m-CRA-2-IC も創出しました。

今回、当社の開発パイプラインである Surv.m-CRA-2-IC は、その技術的独自性・革新性・優位性、及び有効性が日本特許庁により認められ、日本において物質特許として成立しました。これにより、2028年に開始予定の First in Human 治験において対象とする固形腫瘍（浸潤性・転移性）だけでなく、将来の適応拡大に向けた幅広いがん種に対しても独占排他権を有することになりますので、今後の研究開発やライセンス活動を加速するうえで極めて強固なエビデンスとなります。併せて、当社は、日本における本特許成立を足がかりに、欧米を含むグローバルでの物質特許成立も視野に入れております。

当社は、アンメット・メディカル・ニーズに応えるべく、ウイルス治療薬という新しいモダリティを活用し、がん治療および遺伝子治療の新たな可能性を切り拓くとともに、遺伝子治療のグローバルリーダーを目指して、引き続き研究開発を進めてまいります。

補足情報

腫瘍溶解性ウイルスについて

がん細胞でのみ選択的に増殖して破壊するよう遺伝子改変されたウイルスです。ウイルスががん細胞を直接破壊する効果に加え、その過程で放出されるがん抗原が、患者様自身の免疫を活性化させ、がんを攻撃するよう促す効果も期待される新しいがん治療法です。

当社独自開発の腫瘍溶解性ウイルス「Surv.m-CRA」シリーズは、がん細胞で特異的に活性化する「サバイビンプロモーター」を搭載しており、極めて高いがん特異性を有しています。

サーブ・バイオフーマ株式会社について

鹿児島大学小賤教授の独自技術の社会実装化を目的に、2022年8月に設立された鹿児島大学発の認定バイオベンチャーです。小賤教授は、独自に開発した「多因子増殖制御型アデノウイルス（m-CRA）」作製技術プラットフォームを用いて、安全性と治療効果が極めて高く、がん幹細胞も治療できる革新的性能の「サバイビン反応性・多因子増殖制御型アデノウイルス（Surv.m-CRA）」を開発しました。悪性骨軟部腫瘍を対象としたリードパイプライン「Surv.m-CRA-1」に続き、3つの免疫遺伝子を搭載し、全身性抗腫瘍免疫誘導で他臓器転移を強力に治療できる「Surv.m-CRA-2-IC」も創出し、現在非臨床開発を進めており、早期の First-In-Human 治験入りを目指しております。上記シリーズに留まらず、今後も、画期的な腫瘍溶解性ウイルス・免疫治療のシーズを効果的かつ持続的に開発・実用化し、遺伝子治療のグローバルリーダーを目指してまいります。

お問い合わせ先

サーブ・バイオフーマ株式会社 管理部

電話番号：03-6824-2310

メールアドレス：info@survbiopharma.co.jp

以上